

带状疱疹のお話

带状疱疹とは、神経節に潜んでいる水痘（すいとう）・带状疱疹ウイルスが活動を再開することで発症します。ピリピリと刺すような痛みから始まり、続いて小さな水ぶくれと発疹が帯状にあらわれることから带状疱疹という病名が付けられています。初めて水痘・带状疱疹ウイルスに感染するのは、子供の頃がほとんどですが、その時には水ぼうそうとして発症します。水ぼうそうが治った後もウイルスは神経節にじっと潜んでいます。



健康で免疫が維持されている間はウイルスの活動は抑えられますが、加齢や疲労、ストレスなどにより免疫力が低下すると、ウイルスが再び活動を再開し増殖したウイルスは神経の流れに沿って神経節から移動し、皮膚に達して帯状に痛みや発疹が現れるといわれています。

 带状疱疹には予防するワクチンがあります 

50歳以上で水ぼうそうにかかったことがある方はワクチン接種で免疫を強化することで带状疱疹を予防します。予防接種は完全に発症を防ぐものではありませんが、たとえ発症しても軽くすむようです。

 带状疱疹はひどくなる前に治療を始めることが大切です 

治療が遅くなったり治療せずに放っておくと、頭痛や高熱などの全身症状が出たり、重症化することもあります。また、長い間痛みが続く带状疱疹後神経痛（PHN）という後遺症になる方が2割程みられますので、発症後2時間以内に受診することが望ましいとされています。



美明会
特別養護老人ホーム 義明苑
2024年 冬号
看護連携新聞 
Mimeikai